

地域交友促進支援サポート事業

取材日：平成22年（2010年）11月29日

【団体の活動目的】

船橋金杉clubは、金杉台団地周辺地域の有志の人々で集い、有志企業の協力のもと、地域コミュニティ力の強化の為にイベントを行いつつ、地域全体での未来を市民の手で作りに上げていくことを目的とする。

【支援金事業内容】（支援対象経費総額 224,741円 支援金確定額 179,793円 支援率 80%）

- ①子供や若者とお年寄りとの簡単なワークショップや交流会による地域活性化
- ②自然と触れ合う定期的な散歩会による地域コミュニティの活性化

【活動の現場から】

平成22年11月29日、金杉台小学校（図工室）にて開催された、自然の良さを知り地域コミュニティを活性化させるコンセプトの「押し花教室」取材した。

講師は市川市工芸連盟会員の方が務め、生徒側は小学5年生50名が集まって開催された。

金杉台小学校は地域コミュニティ強化に対し積極的に協力的で、小学校の図工室を提供して頂いた。



押し花指導スタッフのミーティング



熱心にピンセットで押し花を並べる小学生

今回の作業は、予め作っておいた草花の押し花と飾り用の切り紙など、それぞれのパーツを、自分なりにピンセットを用いてデザインを考えながら配置し、その上に透明な専用保護シートを貼り付けて出来上がりとなる作業でした。

小学生がピンセットで折れやすい押し花を扱うのは難しそうにみえたので終了後、インタビューしたところ「ピンセットの扱いは難しかったけど面白かった」とのこと。出来た葉書はとても綺麗で、子ども達は満足そうでした。

中村代表は今日の活動効果として、「この実習結果を家に持ち帰り、出来た葉書を家族にみてもらうことで、多くの人が谷津田里山の草花にも関心を持って欲しい。地域ぐるみの自然保護活動を通して、地域コミュニティが活性化する事を期待し、今後も活動を進めたい。」との事でした。

【事業に期待される効果】

2010年6月から2011年3月までに開催する事業は、ほぼ毎月1回（6月は2回）年間11回のスケジュールを計画されており、小学校の積極的な協力もあって、この地域の豊かな自然環境を利用した地域コミュニティの活発化が期待される。

【取材を終えて】

地方の過疎化現象は全国的な悲しい現状であるが、過疎化地域は自然豊かな里山や森が多く残っており、この自然を利用して地域コミュニティを活性化させるため、または、活動を持続させるためには里山のエコバザール(注1)のような経済循環の仕掛けがほしい。

たとえば、山菜、押し花カード・地域野菜の販売、有料鍋大会等検討してはと感じた。人材であるが、現在常時活動されているのは中村代表ご夫婦、金子、市川自然動植物園学芸員と学生数名で、学生が卒業すると活動人数が不足になり活動がなかなか進まなくなる事が懸念される。

今後、常時活動できるメンバーが充実すれば、さらに活動の幅を拡大できるのではないかと考える。

(注1)：環境に配慮した食料、衣類、化粧品などの市場での販売

関わり先（連絡担当者）

船橋金杉 club

会長 中村 哲雄

TEL：047-448-4669